京都帝國大學新聞

月二回　五日・二十日　行程日一日一部　一年一円　廣告料　第五頁　一段　(一行)　一回　二円　(一行)　一段　(一行)　一回　一円　(一行)　一段　(一行)　一回　五十銭　(一行)　一段　(一行)　一回　三十銭　(一行)　一段　(一行)　一回　二十銭　(一行)　一段　(一行)　一回　十銭　(一行)　一段　(一行)　一回　五銭　(一行)　一段　(一行)　一回　三銭　(一行)　一段　(一行)　一回　二銭　(一行)　一段　(一行)　一回　一銭　(一行)　一段　(一行)　一回　五厘　(一行)　一段　(一行)　一回　三厘　(一行)　一段　(一行)　一回　二厘　(一行)　一段　(一行)　一回　一厘

臨時議會を顧みて

藤田進一郎

臨時議會は、まづ第一に、臨時議會に期待されてゐつたところのものは、何故に、議會は、あれほどまでに、無能であつたのであらうか。

世間ではよく、「議會は、何のために、あるのか。何故の議會か。」といつたことを言ふ。議會は、議員の、選挙によつて、選ばれた、人々の、集まりである。議員は、選挙民の、意思を、代表する、ものである。議會は、選挙民の、意思を、代表する、ものであるから、議會は、選挙民の、意思を、代表する、ものであるから、議會は、選挙民の、意思を、代表する、ものであるから、

東都の強豪西下し 打續く大白熱戰

連戰連勝の餘勢を驅り 本學軍これを邀撃

楕球・寒・風を劈く

◇對明大戰 七日、花園

◇對立教戰 十八日、甲子園

◇對東大戰 十七日、花園

◇對慶大戰 一月一日、花園

待つや久し 愈よ全國決勝

關東の覇者早大軍西下して 十六日本學ご對陣

四帝大聯盟 ホッケー創立す

卅一日、創立委員會

四明會の 蹴球大會

米45松野

三高チーム優勝

軟式野球大會

白頭山遠征のもつ 學的意義を發表

先發隊は二十日夜京都出發 旅行部愈よ活躍へ

義金の一部 を年内に分配

罹災學友救援金處分

義金芳名

十二月十四日以降分

顔見世鑑賞會

十八日劇研が

國士を養成する 學生道場の建設へ

大野學生主事畢生の大事業 いよいよ具體化す

京の新春を飾る 全國高校大會

ホッケーとサッカー

軍事査閲

十五日午後一時

オリムピック 陸上選手候補に

本學陸上部の四君

職業野球團の 誕生と展望

野口生

端艇部 勇躍す

三萬圓で新艇庫と合宿所を建設中

合唱團放 送局見學

オリンピック目指し

一カツサ

「スポーツマン に必要な醫學」

學友會で後行

遠足忘年會

十六日夜國山で

友響

圖書館への 出入は靜かに

迎春の御用意は 京大購買組合 指定商へ！

米ずはらあ 搗砂無 店米白定丹 人西丸鳥川東市都京 二六〇二(3)上電

京染悉皆 新春お正月用ノ御用命ハ 井辺京染店 京都市西川原下ル路町 電話上一八六八番

進調墨筆定選家名道書 種各本手字習 店支都京園梅古 上條二町寺區京中市都京 番一三五一上話電

高級甘納豆 正チャン豆本舗 合名 井上笑榮堂 京都市左京區野宮道西川上ル 電話上(3)二八三四番 振替大阪七一二〇八番

シークなお風物は 大黒屋 寺町二條上ル 電話上八二七

營業品目 一、脱脂綿 一、蒲團綿 一、真綿 一、分娩用具 京都市五町西洞院ヒル 高村商店 電話(二)五一八六 振替大阪(二)八四一五五

砂糖 京都西堀川出水上ル 熊谷商店 卸部 電話西陣八〇〇番 小賣部 電話西陣八〇八番

宮内省御用達 洋菓子製造舗 村上開新堂 京都市寺町二條北入 電話上一〇五八番 本店 東京市麹町區麹町

歳末 大棚ざらへ ◇呉服・雑貨掘出し物大山積…… 髙島屋 (京都・高島) 開催中三十日まで 夜間營業八時半まで

ドライクリーニング 井筒洗濯舗 出張所 京都市祇園下河原通上ル 電話(祇園)三二八番 顧客京都全区上堺内

お米の御用は 是非弊店へ！ 永年大學購買組合の指定商として御用を承り御高評を蒙つて居ます 相變らずの御ご愛顧申上げます 京都帝國大學購買組合 京都市出川寺町西入 今西米穀店 電話上(3)八六四番

京都帝國大學購買組合指定 炭は福知へ 品質は優良・値段は低廉 配達は迅速・せひ御用命を 京都市川端通四条上ル 薪炭問屋 福知商店 電話上七五四番

一九三四年を送る

「文藝復興」の總決算

—海外作家への憧憬—

千葉龜雄

一九三四年の文藝界は、どんな年であつたか。何と云つても「文藝復興」が三年目に入つたことが、一番目立つた事だつたと云ふ事になるだらう。一九二四年の文藝界を、十五年前のルネサンスまで遡かれば、何か比較した所の多い年だといつてもよいだらう。こんな風に、文藝界が、活潑だといつても、こんな風に、文藝界に、活潑な大づつぱな動きが、見られるのは、明治と維新との間、大正と昭和との間、といつた、文藝の、変革期に、ある時だけだと、云はねばならぬ。

それ、丁度、明治の、文藝界が、ヨーロッパ、特に、佛蘭西、の、文藝の、影響を、受けて、ロマンチシズムの、文藝が、生まれ、大正の、文藝界が、ロシヤ、特に、ドストエフスキイの、影響を、受けて、ヒューマニズムの、文藝が、生まれ、昭和の、文藝界が、ヨーロッパ、特に、佛蘭西、の、文藝の